

■若者 vs 松村■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 111 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

111 目次

1. トピックス：若者 vs 松村
2. 今週のお知らせ：蛍狩り
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：若者 vs 松村

今日はチャレンジアシストプログラムの公開審査会に参加した。これは東京都教育委員会と BumB 東京スポーツ文化館が主催する助成事業で、若者のグループが初めてのチャレンジとして企画・提案する活動を、ジャンルを問わず支援する取り組みだ。僕は 2012 年から審査員として参加しているが、毎年多くのチャレンジングな若者と知り合うことのできる、とても美味しいプロジェクトだ。例年 20 件ほどのエントリーがあるがそれを書類審査で 10 件前後に絞り、公開審査会＝プレゼン大会で即日審査・決定するのだが、若者たちのチャレンジは当然未熟で、申請書類の完成度も低いため、書類審査はいつも、提案内容の優劣よりも審査員の勘や嗅覚が試されている気がする。

今日は残念ながら 2 組が棄権したため 8 件がプレゼンに臨んだが、10 分前後のプレゼンに対し、審査員がみっちり質問を投げかけるのがこの事業のスタイルだ。特にうるさいのが「もちろん僕・松村」で、すべての発表者に対して猛然と襲いかかる。初めのうちは、こんなことをしていると早晩審査員を首になるな・・・と思っていたが、以外というか有難いことに「説教好きな名物審査員」的ポジションを与えていただき、延べ時間にすれば、確実に誰より長く僕がしゃべっている。そんな中、ついに今日はやらかしてしまったというか、発表者に触発された僕の頭が突然高速回転し、思いついたビジネスプランを機関銃のように発射してしまった。今思い返しても面白かったので、ここに書き留めておきたいと思う。

僕を触発したのは、「88 生まれの女たち」というグループで、劇場離れが進む中で「野外劇」で新たな演劇ファンを獲得しようというチャレンジだ。他の案が、比較的真っ向から社会課題に取り組むチャレンジなのに対し、このグループは自分たちの演劇公演に何とか社会的価値をこじつけようとする意図が見え見えなのだが、でも僕

は決してそれを悪いとは思わない。むしろ、既成概念にとらわれないマーケティングというか、社会を奉仕活動でなくビジネスのターゲットとして捉える議論を、もっとするべきとすら思う。だが、彼らはまだ若く、戦略はあまりにも未熟だ。そもそも、自分たちの演劇を構築するだけでも一大事業なのだから、それを興行としてどのように組み立てるかを考えるのは至難の業に違いない。

とはいえ、彼らの発表はそれなりの勢いをもって完結したが、質疑応答に入ると、ボロボロとほころびが露見する。会場は廃校の校庭なので、雨天決行を覚悟していること。本当は河原の土手にトラックが走ってくる想定だったのに、許可が下りず校庭になってしまったこと。劇場に客が来ない最大の理由を「高い料金」だと分析しているのに、チケットを 3000 円で売ろうとしていること。たとえ助成金が満額支給されても、雨が降ったりチケットが売れなかったりして事業が成立しなければ元も子もないではないか…という話になってきた。しかしその時、僕の頭は回り始めた。これらの課題を解決する案を、もっと出せばいいじゃないか。もっと別の可能性や選択肢を上げればいいじゃないか。

まず、雨天決行まで覚悟して、当初のイメージとかけ離れた「校庭」で諦める必要はない。河原で許可が下りないのは、それが興行だからであり、あらかじめ参加者を募って会費を集め、みんなで河原に出かけて演劇パフォーマンスを楽しむだけなら、何の許可も必要ない。そもそも 1 年に 1 回以上演劇鑑賞をする人が 1% しかいないという現状は、興行ビジネスが下火になったわけではない。現に、これまでレコードや CD 販売を主要事業にしてきた音楽業界は、メディア離れを背景にライブ・パフォーマンスを中心とした興行ビジネスに変貌している。演劇興行がうまく行かなければ、別の業態を考えればいいはずだ。「会員制の演劇体験ビジネス」という着想は、自分でも驚く名案だ。

この方式であれば、あらゆる状況での演劇公演が可能となる。例えば、都電荒川線を「貸し切り」すると、そのお値段は一台 13,820 円。早稲田-三ノ輪橋間の約 50 分の乗車時間で演劇公演を行えば、会場費はそれで済んでしまう (<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/toden/kanren/kashikiri.html>)。乗車定員約 60 人、座席定員 20 人なので、同じ 3,000 円なら全員着席で 45,000 円程度の利益が出る。駅に集合して乗車する前からストーリーが始まって、電車の中でドラマが展開し、下車した後も目が離せなくなった観客が居酒屋まで誘導され、エンディングと同時に飲み会が始まる…なんていうパフォーマンスが合ったら面白いじゃないか。初めは一人の案内人がいて、観客に紛れたキャストが順次ストーリーに加わってくる展開も面白い。劇中で、観客が参加するアドリブ部分があったり、ちょっと種明かしの休憩時間があったでもいいと思う。

更に、3,000 円の料金もアレンジできる。校庭での公演は 50 人収容を想定しているが、それは総額 15 万円を意味している。だとしたら、5 人の美女がかわるがわる自宅を訪ねてきて、そこで展開するドラマを家族や仲間を楽しむ講演を、5 万や 10 万、いや 15 万で行ったらどうだろう。これは会社や施設のアトラクションとしても面白い。何しろ演劇は、どんな舞台設定だってそれをドラマにできるから。別に楽器も機材も必要ない。むしろ、生活や仕事の場がそのまま舞台になったら面白いに違いない。こうした演劇を、会員制で展開する。役者や脚本家はもちろんのこと、観客や興行者も仲間になって、規模が小さくても余計な費用の掛からない、限りなくコストパフォーマンスの高いビジネスが可能となる。すると、他の審査員からも「私は 1956 年の会を作って大盛況、あなたたちももっと 1988 年生まれの女を集めて、子に事業を展開しなさい！」とさらに議論は盛り上がった。

今日は審査員というお仕事をしたはずが、新たなプランが湧き出してすっかり有頂天になってしまった。もちろんすべて、発表者に対するアドバイスとして会場で披露したのだが、どう考えても実現すべきという思いが拭い去れず、ここに書かずにはいられなくなった。まずは「88 生まれの女たち」の皆さんに連絡し、その実現に向け

説得してみたいと思う。そしてもしもそれが叶わないのなら、他の誰でも構わない、フラッシュモブならぬ「会員制の演劇モブ」ってどうよ…それが今日の提案だ。

<http://nanoni.co.jp/20170611/>

.....

## 2. 今週のお知らせ：蛍狩り

毎年6月中旬の雨上がりの夜は、ホタル狩りの絶好の機会。  
生田緑地の一角にある湿原の木道から、  
神秘的な夜の森に怪しく光る蛍の世界を見に行きましょう。

<https://www.facebook.com/events/981338575336613/>

日時 6月16日(金) 19時～21時ころ

集合 笑恵館 18時半

費用 参加無料・交通費など実費(1,000円程度)をご用意ください

持ち物 雨具、滑りにくい靴、懐中電灯、虫よけ剤など

行程 祖師ヶ谷大蔵駅から電車で向ヶ丘遊園前まで行き、そこから歩きます。車で行かれる方は、専修大学側から民家園の駐車場に行き、そこから歩きます。19時半ころから約1時間観察して、帰ります。

注意事項 公園内では蛍を見るために懐中電灯は使わないでください。

なお、終了後は、駅近くの居酒屋で「解決しゃべり会」を開催します。

よろしければこちらにもどうぞ！

<https://www.facebook.com/events/435209773502159/>

.....

## 3. まつむら塾

### ■開催予定 講義+演習

・日程 7/13,27 (第2,4木金曜日) 19-21時 笑恵館

・その他会場募集

まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

### ■オンラインまつむら塾：まつむら塾の演習をオンラインで体験できます。

・事業目的の作り方(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

現在：RAM 会員 3 名、ROM 会員 0 名（定員 30 名）

・倒産覚悟の経営のススメ(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/matsumuratakuya>

現在：会員 8 名（定員 30 名）

.....

#### 4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 6/12 ○作業日 午後新宿方面で面談可

14-15 時 ●東京都庁 NPO 認証協議

(火) 6/13 ○作業日 午後 15 時まで笑恵館で面談可

15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

17-19 時 ★笑恵館クラブ理事会

(水) 6/14 ○休業日 たぶん自宅（長津田）

(木) 6/15 ○作業日 終日笑恵館で面談可

(金) 6/16 ○作業日 午後笑恵館で面談可

19-21 時 ★蛍狩り＋第 19 回 解決しゃべり会

<https://www.facebook.com/events/981338575336613/>

(土) 6/17 ○なのに作業日（居場所未定）

(日) 6/18 休業日（甥の結婚式）

#### ■その後のイベント

6/20 16-18 時 ★笑恵館を学ぼう

6/20 18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会

6/25 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 5 月例会

6/27 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

7/05 10-13 時 ★御宿ネットワーク 総会（御宿）

7/08 10-15 時 ★ニッチ大学③（さくまさんち）

7/11 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

7/11 17-19 時 ★笑恵館クラブ理事会

7/13 18-21 時 ★まつむら塾（笑恵館）

7/14 19-21 時 ★カプラー起業交流会(三茶)

7/21 19-21 時 ★第 20 回 解決しゃべり会

7/27 18-21 時 ★まつむら塾（笑恵館）

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>